



エコビレッジ湯地の丘 環境づくりガイドライン

参考資料

この参考資料は「エコビレッジ湯地の丘 環境づくりガイドライン」をご理解いただくために、プランや工夫の例を示したものです。計画づくりにご活用ください。

■傾斜地を利用した建築計画の例

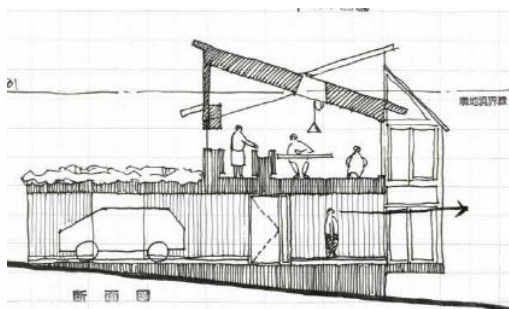
1-3 資源の有効利用

A 建設残土の発生を抑制するため、地形の改変は極力行わないことを基本とする。

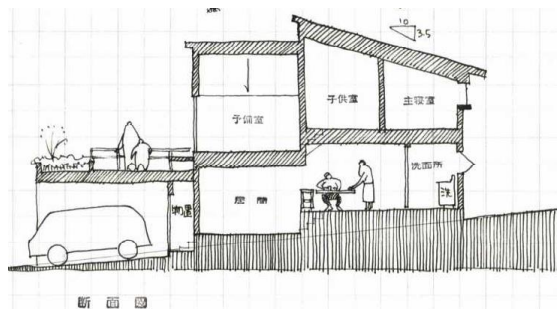
地形を活かす工夫

- 高低差を活用してスキップフロアにし、空間に変化をつける。
- 道路からレベルで張り出すフロアにし、アクセスフリーとしながら張り出す開放感をつくる。
- 地中に掘り込むフロアにし、アクセスフリーとしながら保温効果、防音効果を期待する。

○建築計画の例

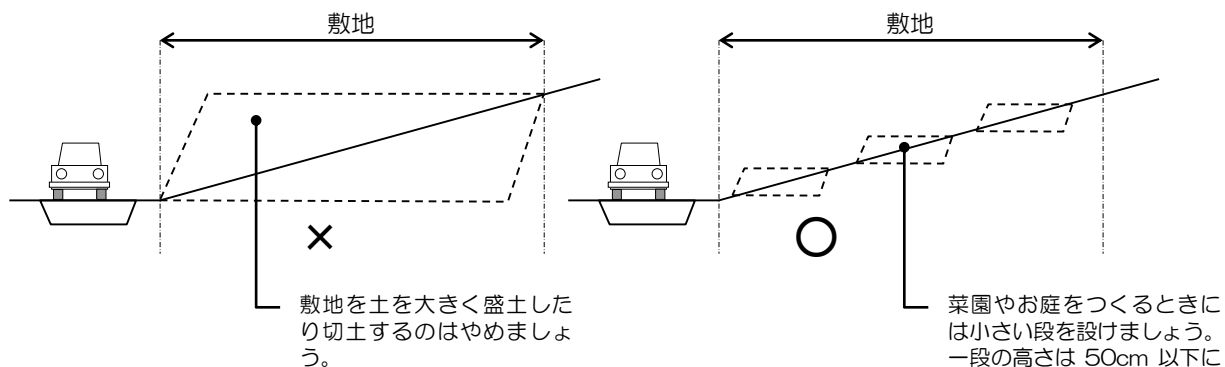


上入りタイプ（張り出し）



下入りタイプ（スキップ）

○周囲の敷地の活用例





■屋根の色（主たる建築物の屋根）

3-2 美しく周辺と調和したデザイン

E 母屋などの主たる建築物の屋根勾配は10：3.5を基本とする。また、素材は、ガルバリウム鋼板同等品以上とし、色は栗山町指定色（参考資料を参照）とする。また、軒の出は壁芯から45cm以上出すこととする。なお、軒天は屋根仕上げ色彩から選択した色とする。

栗山町が指定する屋根の色

- ・茶系（安定感、落ち着き、安心感）
- ・灰色（和風、古風）
- ・黒色（重厚、豪華、厳粛）

black #000000
dimgray #696969
gray #808080
darkgray #a9a9a9
silver #c0c0c0

sienna #a0522d
saddlebrown #8b4513
maroon #800000
darkred #8b0000
brown #a52a2a

※カラーサンプルはイメージです

【屋根形式は、必ず勾配屋根とし、陸屋根等の堅い印象を受けるものは避けること。色彩は、茶系統・灰色・黒等の色を基本にし、景観上支障のないように留意すること。（自然公園法による国定公園内行為許可申請より）】

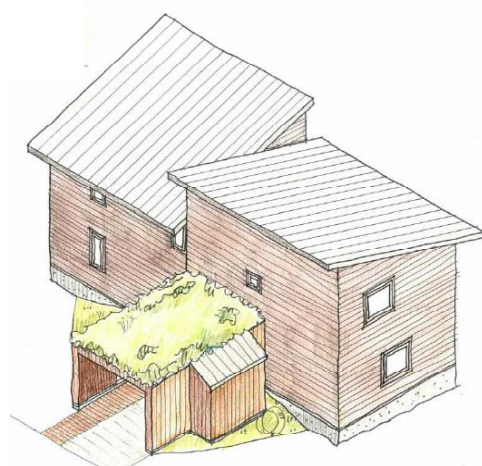
■外壁材（主たる建築物の外壁）

3-2 美しく周辺と調和したデザイン

F 母屋などの主たる建築物の外壁の仕上げは、自然素材（木質系材等）を用いることを基本とする。

素材の例

- ・木材
- ・自然石
- ・レンガ



※建物の耐久性を考慮し、一部にコンクリートを使用することも可能です。

【建物の屋根・外壁の材質・色彩については、光沢のあるもの・原色は避け、全体を3色以内のコントラストでまとめることが望ましい。増築の際の外部色彩は既存と同一配色にすること。（自然公園法による国定公園内行為許可申請より）】